赤と黒の接吻（1991）

LE BRASIER

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス／ポーランド／ベルギー
色彩 Color
時間 124分
初公開日 1992/11/14
公開情報 シネカノン

【キャッチコピー】
ひとときの夢を見ていた、神をも見捨てたこの街で

【解説】
「グラン・ブルー／グレート・ブルー完全版」により人気スターとなったＪ＝マルク・バールが三年のブランクを経て主演した。３０年代の北フランスの炭鉱を舞台に、ポーランド移民の歴史を骨子とし、移民青年と地元の娘のロマンスを荒々しいタッチで描く、Ｅ・バルビエの監督処女作。スタイリッシュな画面で炭鉱労働の現場を塑形してゆく部分は見せるが、恋愛ドラマは性急すぎてニュアンス不足。炭鉱内の移民差別と、折しも起こった恐慌が、フランス人坑夫を人質にとっての移民坑夫たちのストライキを誘発する。そうした社会劇的要素とロマンスが、水と油に分離したままなのである。ヒロインに扮するＭ・デートメルスの演技は力強い。

【クレジット】

監督	エリック・バルビエ	Eric Barbier
製作	ジャン＝フランソワ・ルプティ	Jean-Francois Lepetit
脚本	エリック・バルビエ	Eric Barbier
	ジャン＝ピエール・バルビエ	
撮影	ティエリー・アルボガスト	Thierry Arbogast
音楽	フレデリック・タルゴーン	Frederic Talgorn
出演	ジャン＝マルク・バール	Jean-Marc Barr
	マルーシュカ・デートメルス	Maruschka Detmers
	ウラジミール・コトリアロフ	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.